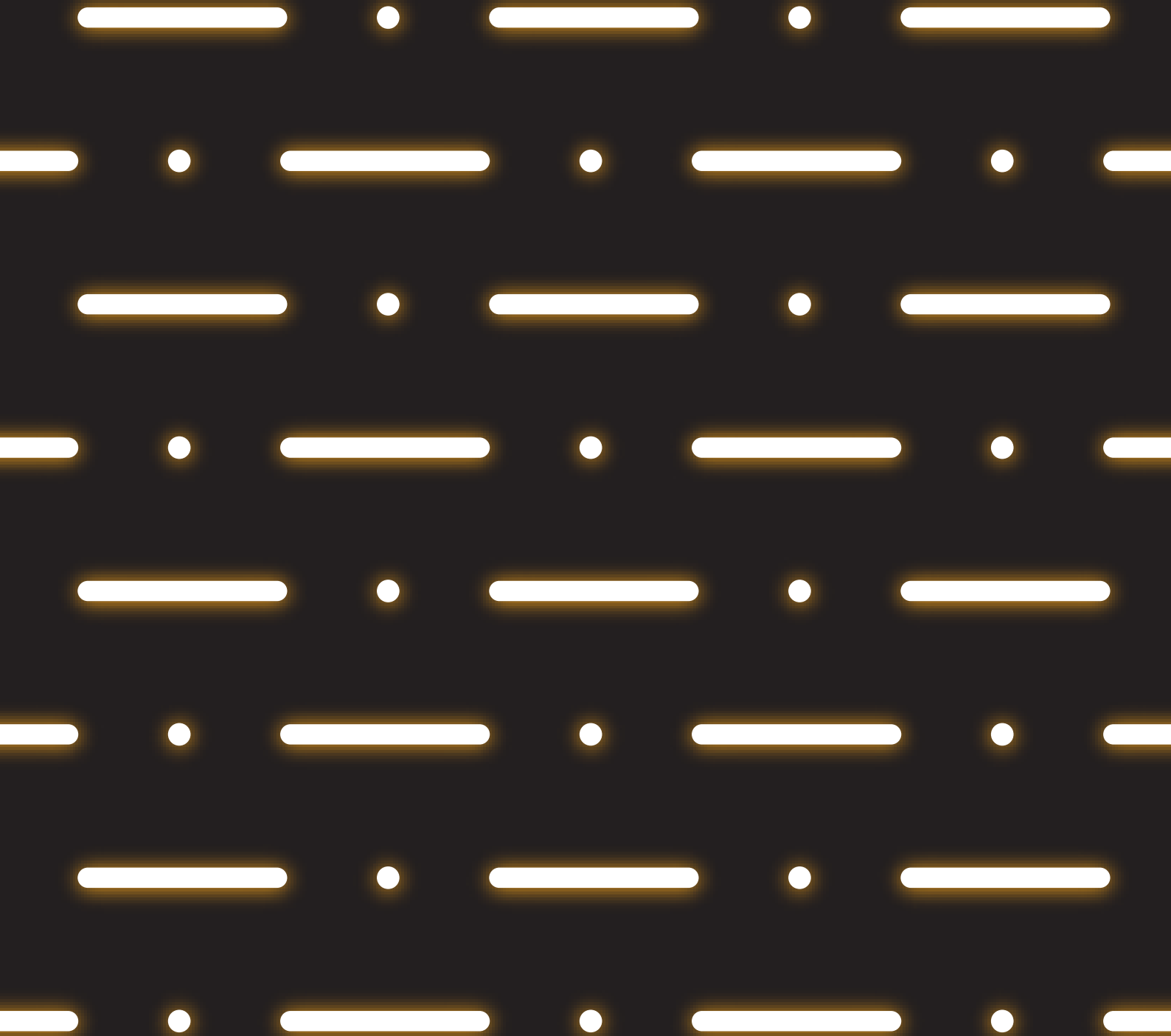


# 団地 × 街力」

街に、ルネッサンス



# 2





よく晴れた日の夕暮れ、次第に空は赤く染まり、家々に「あかり」が灯りはじめると、まちには人々を迎える安らぎの風景がひろがります。「あかり」による風景は、穏やかで落ち着いた空間を形成し、日々の暮らしに彩りや潤いを与えてくれます。

私たちの生活に欠かすことのできない「あかり」は、これまで安全・安心のための道具として認識されてきましたが、近年では良好な景観を形成するための要素の一つとしても認識されるようになってきました。

UR都市機構では「人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちづくり」に取り組んでいます。私たちは「あかり」によって生み出される良好な景観も美しいまちづくりに欠かせない重要な要素であると考え、質の高い夜間景観を形成するため、安全性・防犯性を確保しながらも、より人にやさしい、あたたかい「あかり」をつくることを心がけています。

本冊では、UR都市機構が「あかり」によって形成する景観について「新たなあかり」、「再生するあかり」を中心にご紹介します。

3-17 新たなあかり

19-29 再生するあかり

31 事例紹介

18 Column-1 UR都市機構がめざすあかり

30 Column-2 Interview～「あかり」への意識～

32 団地×あかり2 MAP

33 照明関係受賞一覧・あとがき

# 1

## 新たなあかり

UR都市機構では、美しい景観に配慮し、住む人が愛着の持てるまちや住まいづくりを進めています。新しいまちをつくる際には、周辺のまちとの調和に配慮し、地形や人の流れ、まちの歴史などを読み解き、地域に根ざした美しい景観の形成に取り組んでいます。

「あかり」についても、建築デザインやランドスケープを引き立てるだけでなく、周囲との調和を図り、安全・安心で心地良い照明空間となるようデザインしています。街路や樹木を照らす「あかり」、建物を照らす「あかり」、住まいからまれる「あかり」など、「あかり」が夜の表情となって、空間やまちに彩りを添えてくれます。

「あかり」によって形成される良好な景観は、その空間を訪れる人々の心にやすらぎや潤いを与え、日々の暮らしをより豊かなものにしてくれます。



## ニューヴェル赤羽台

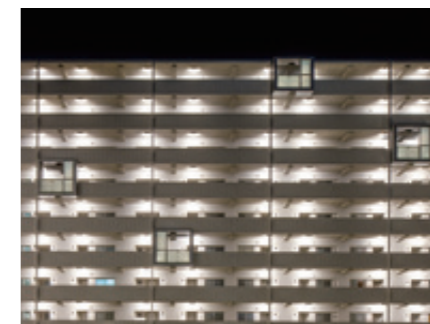
暮らしの温もりが伝わるあかり

所在地 東京都北区  
 管理開始 平成18年  
 戸数 1,895戸  
 照明デザイン (株)近田玲子デザイン事務所

「ニューヴェル赤羽台」は、赤羽台団地の建替えにより生まれた団地です。建替えにあたっては、建築家、ランドスケープデザイナー、照明デザイナーが協働してデザインコンセプトを定めることで、各街区が個性を発揮しながらも全体の調和が図られ、連続性の感じられる街並みを形成しています。

照明デザインでは、「暮らしの温もりが伝わる夜景をつくる」をテーマとして、「遠くからも分かる、絵になるひかり」、「住民のコミュニケーションを広げるひかり」などをキーワードとしました。電球色に統一し、各所に間接照明を採用することで、まぶしさを抑えたあかりは温もりと安らぎのある空間を形成しています。

また、一部住棟ではエントランスや共用廊下照明の明るさを時間帯によって調整することで消費電力を抑え、環境に配慮したこれからの団地のあり方を実現しています。



ニッチから漏れるあかりが印象的な共用廊下



光源が見えないよう配慮した駐車場



照明をアクセントに用いた通り抜け通路



漏れるあかりが表情となる共用スペース

## コンフォール柏豊四季台

つながるみんなのあかり

所在地 千葉県柏市  
管理開始 平成20年  
戸数 1,432戸



あかりがにじみ出す開放的なエントランス

「コンフォール柏豊四季台」では、柏市、東京大学との連携により長寿社会のまちづくりを目指した取組みが行われており、建替えにあたっては民間事業者による住宅供給や子育て支援施設などを誘致することで、幅広い世代の方々が交流できる団地になっています。

また、「ECO PROJECT」の一環として、雨水浸透トレンチや屋上緑化など環境に配慮した様々な技術を導入することで、「緑豊かな、環境にやさしいまちづくり」にも取り組んでおり、これらの取り組みをお住まいの皆様にお伝えし、積極的に「魅せる」ことで、低炭素型のまちづくりとライフスタイルの推進を目指しています。

照明デザインでは、ガラスを用いることで開放感を演出したエントランスから、にじみ出るあかりが「あんどん」のようなアイストップとしての役割を果たし、多世代のコミュニティに彩りを加えています。

## コンフォール茅ヶ崎浜見平

このまちならではのあかり

所在地 神奈川県茅ヶ崎市  
管理開始 平成23年  
戸数 870戸  
照明デザイン (株)トミタライティングデザイン・オフィス



表札としてのあかりを備えたエントランス

湘南の海からほど近い「コンフォール茅ヶ崎浜見平」は、浜見平団地の建替えにより生まれた団地です。団地内には桜並木や富士山を拝める眺望が広がるなど、自然環境に恵まれた暮らしやすさが魅力の団地です。

照明デザインは、「ベースのあかり」、「共有エリアのあかり」、「ひとのあかり」、「個性のあかり」をテーマとしました。安全・安心な明るさを確保しつつ、コントラストを意識したあかりで、抑揚のある豊かで安心感のある環境を創出しています。建物の入口には夜の表札となるあかりを用意し、迎え入れる表情を備えることで、「我が家の安心感」につながる雰囲気演出しています。

人々が行き交い、集う空間ではファニチャーとあかりを組み合わせた夜景を形成することで、このまちならではの「浜見平スタイル」の夜間景観を創出しています。

## シャレール海岸通

行ってみたくなるあかり、帰ってきたくなるあかり

所在地 神奈川県横浜市  
管理開始 平成24年  
戸数 214戸  
照明デザイン LIGHTDESIGN INC.



横浜の夜景と調和するライン照明

海岸通団地の建替えにより生まれた「シャレール海岸通」は、数多くの歴史的建造物が建ち並ぶエリアに位置しています。

建替えにあたっては、景観条例に基づき、地区のデザインガイドラインを定め、21m以下の低層部では表通りの連続性に配慮した外観としました。

照明デザインも歴史的建造物が建ち並ぶ周辺の街並みとの調和を考慮し、周辺の建築物デザインを引き継いだ軒高21mの張り出しにはライン照明を設け、横浜の夜景との調和を図りました。

団地前の街路空間では、樹木と低層部の柱のライトアップにより奥行きが感じられ、共用廊下の壁や天井には間接照明によりやわらかな雰囲気を作り出すことで、「やさしいあかり」をまとう外観を演出しています。

## アーバンラフレ鳴子

人と緑のふれあうあかり

所在地 愛知県名古屋市  
管理開始 平成22年  
戸数 450戸



開放感を演出する樹木のライトアップ

鳴子団地の建替えにより生まれた「アーバンラフレ鳴子」は、ゆるやかな丘陵地に位置し、周辺には緑豊かな公園が多数ある自然を身近に感じられる団地です。建替えにあたっては、幅広い世代の人々が安心して暮らせるまちを目指し、子育て支援施設や高齢者支援施設の整備を行いました。

景観デザインではガイドラインを策定し、「暮らしの気配が感じられる、緑に満ちた景観づくり」をテーマとしました。緑が映える落ち着いた配色の外観が圧迫感を抑えることで空の広さが感じられ、街区ごとのアクセントカラーが個性を感じさせる景観となっています。

照明デザインでも、高さを抑えた照明により樹木を足元から照らすことで、空の広がりを強調しています。恵まれた緑とゆとりある屋外環境、こまやかな配慮を加えたあかりが、人と自然が一体となったコミュニティを形成します。

## 浜甲子園なぎさ街

ホームタウンとしての光

所在地 兵庫県西宮市  
管理開始 平成24年  
戸数 707戸



人々が集える光だまりを設けた広場

「浜甲子園なぎさ街」は、鳴尾浜公園や甲子園浜などにも近く、海と緑に囲まれた爽やかな浜風が心地良い団地です。これらの海や眺望、浜風、青空をキーワードにデザインされた団地内には、随所に緑豊かな公園や広場が配置され、潤いの暮らしを演出しています。野菜やハーブを育てられるキッチンガーデンも人気で、新たなコミュニティを育むきっかけになっています。

「ホームタウンとしての光」を目指した照明デザインは、心も身体もリラックスできる空間を創出し、所々に光だまりを設けることで、自然に人々が集う空間を創り上げています。豊かな緑や壁面をライトアップした「あかり」が団地全体を包み、エントランスへと導く歩道に埋め込んだ青いあかりが爽やかな浜風をより一層引き立てることで、このまちでの暮らしを憩いと癒しあふれるものを感じさせてくれます。

## 奈良学園前・鶴舞

温かく迎えるあかりのまち

所在地 奈良県奈良市  
管理開始 平成22年  
戸数 801戸  
照明デザイン (株)LEM空間工房



立体感を演出する白壁のライトアップ

文教地区に位置する「奈良学園前・鶴舞」は周辺に緑が溢れ、開放感いっぱい美しい眺望が望める団地です。明るく軽やかな色彩を基調としながら、レンガや木質調パネルなどの多様な素材感の建築デザインが楽しい街並みを演出しています。

照明デザインでは、「奈良学園前・鶴舞」にふさわしい佇まいと、これまでに育まれたコミュニティを継承するため、団地全体の統一感を意識した「あかり」としています。大通りに面して配置された白壁には、ライトアップで上に伸びるあかりを、歩行者が行き交う小道の足元にはテンポ良くあかりを配置することで、立体感のある「あかりのまち」を演出しています。

電球色に統一した「やさしいあかり」は、温かく落ち着いた親しみを感じさせ、景観の美しさばかりでなく、人々にやすらぎと安心感を与えています。

## 千里山

季節の移ろいを映すあかり

所在地 大阪府吹田市  
 管理開始 平成26年  
 戸数 340戸  
 照明デザイン 株式会社LEM空間工房



四季を彩る植栽のライトアップ

都市の利便性を備えながら、豊かな自然と共にたたく「千里山」は、「緑と共存した端正な住まいの再構築」をコンセプトに生まれかわった団地です。

団地の建替えにおいては周辺施設や道路の整備も同時に行うことで、駅前交通の安全性の確保などの地域課題の解決も図っています。また、閑静な住宅地としての美しい街並みを継承する一方、太陽光発電、屋上壁面緑化や雨水浸透工法等を積極的に導入した省エネプロジェクトモデル団地にもなっています。

照明デザインは、植栽や建物の美しさを際立たせるため、器具の存在感を可能な限り抑え、間接照明中心のヒューマンスケールのあかりで構成しています。ライトアップされた四季の移ろいを感じさせる樹木は、団地にやさしい彩りを添え、人々を楽しませてくれます。

## アートヒル高根台

継承されるゆるやかなあかり

所在地 千葉県船橋市  
 管理開始 平成16年  
 戸数 1,111戸  
 照明デザイン LIGHTDESIGN INC.



高さを抑えた照明で構成されたプレイロット

「アートヒル高根台」は新京成電鉄新京成線「高根公園駅」の駅前に位置する団地で、駅名にもあるように、かつて駅周辺には日本住宅公団が建設した高根台団地が建ち並んでいました。

高根台団地は地形を活かした住棟配置が特徴的で、土地の風土や地形の中から造形のテーマを読み取ろうとする「風土派」と称された設計手法による代表的な団地でした。建替えにあたっては、その設計思想を継承し、オープンスペースの確保と建物とランドスケープの一体感が開放感とリズム感を生むデザインとしました。

照明デザインは、テンポよく配置した庭園灯が歩いて心地よい歩行空間を演出する一方で、コントラストによって建物や地形を強調することで、高根台団地から継承した住棟配置や樹木など、歴史を感じられる景観を際立たせています。



## グリーンヒルズ仁川

自然と共存するあかり

所在地 兵庫県宝塚市  
管理開始 平成23年  
戸数 286戸

丘陵地に広がる「グリーンヒルズ仁川」は、敷地内の高低差を活かした開放感が自慢の団地です。建替え前の仁川団地に植生していた樹木の多くを継承し、敷地内の傾斜地には新たに四季折々の植栽を加えることで、華やかな雰囲気とより多くの緑が感じられるよう演出しています。

照明デザインは高さを抑えた照明を配置することで、親しみや温もりを感じられる空間を形成し、動線を浮かび上がらせることで人々をやさしく導くあかりを表現しています。



## アーベインルネス若久

やさしく迎える安全・安心のあかり

所在地 福岡県福岡市  
管理開始 平成27年  
戸数 370戸

福岡市内初の一戸以上のマンモス団地であった若久団地の建替えにより生まれたのが「アーベインルネス若久」です。「自然を感じる」、「つながりを感じる」、「安全・安心を感じる」、「美しい街並みを感じる」をコンセプトとした、回遊性があり、見通しの良い、すっきりとした街並みが特徴の団地です。

建物やオブジェ、樹木などのエクステリアを電球色で統一した「やさしいあかり」が包み、若くらしい「人にやさしい安全・安心を感じるまち」を表現しています。



## コンフォール和光西大和

落ち着きと緑のあかり

所在地 埼玉県和光市  
管理開始 平成29年  
戸数 110戸

「コンフォール和光西大和」は、都心へのアクセスに優れ、多くの公園に囲まれた環境が魅力の団地です。団地前のケヤキ並木は地域のシンボルになっており、ケヤキの緑が美しく映える白を基調とした外観は地域のランドマークになっています。

緑豊かな周辺環境に配慮した照明デザインは、明るすぎない落ち着いたあかりで構成しています。開放的なエントランスでは間接照明を中心とした照明により、安全・安心な明るさを保ちつつ、落ち着きと洗練された雰囲気を演出しています。



## アーバンラフレ鶴舞公園

あかりによる記憶の継承

所在地 愛知県名古屋市  
管理開始 平成25年  
戸数 308戸

「アーバンラフレ鶴舞公園」は、七本松団地の建替えにより生まれた団地です。都心に近く利便性の高い団地でありながら、団地名にもあるように緑豊かで広大な鶴舞公園へのアクセスにも優れ、恵まれた周辺環境が自慢の団地です。

照明は明るさを確保しながら、電球色を基調とした間接照明を用いることで、メリハリある空間を演出しています。1号棟エントランスでは、旧団地名である「七本松」にちなんで七本の円柱をライトアップし、記憶の継承を図っています。



## シャレール恵比寿

都心を際立たせる洗練されたあかり



所在地 東京都渋谷区  
管理開始 平成25年  
戸数 63戸

恵比寿駅から徒歩5分ほどの場所に位置する「シャレール恵比寿」は、洗練されたデザインの外観やエントランスが特徴の団地です。9階の屋上庭園では四季折々の植物が楽しめるほか、東京タワーをはじめとした東京の街並みが一望でき、都心に住むステータスを感じられます。

エントランスや中廊下の照明は、まぶしさを抑えた上質なあかりを用いることで落ち着いた空間を演出し、洗練された建物デザインをより一層際立たせています。

## ひばりが丘パークヒルズ

みどりに囲まれた、温かいあかり



所在地 東京都西東京市・東久留米市  
管理開始 平成16年  
戸数 1,504戸

昭和34年に首都圏初の大規模団地として建設されたひばりが丘団地の建替えにより誕生したのが「ひばりが丘パークヒルズ」です。「緑と暮らすつながりのまち」をテーマとして、団地の建設当初から50年以上の歳月をかけて育まれた樹木を大切に継承した、四季折々の美しさが魅力の団地です。

照明によるコントラストで周囲との差別化を図り、ゲート性を持たせたエントランスは温かなあかりが溢れ、家路につく人々をやさしく迎えてくれます。

### Column-1

## UR都市機構がめざすあかり

住まいやまちに対するニーズは、戦後の都市部への急激な人口集中に伴う住宅不足の解消に始まり、高度経済成長期以降の居住水準の向上を経て、近年では少子高齢化への対応、環境配慮など大きく変化を遂げてきました。

昭和30年、私たちの前身である「日本住宅公団」が発足されて以来、昭和56年「住宅・都市整備公団」、平成11年「都市基盤整備公団」、平成16年「独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）」へと移り変わりながら、住まいやまちの抱える様々な課題に向き合い、ニュータウンの建設や団地の供給及び再生、市街地の再開発等を通じて住まいやまちのプロデュースに取り組んできました。

UR都市機構では良好な景観形成に向けた様々な取り組みを行っていますが、昼間だけでなく夜間においても良好な景観を形成するため、「あかり」を重要な要素の一つと捉え、景観に配慮した照明「景観照明」に積極的に取り組んでいます。

近年、「あかり」は夜間における安全・安心、快適性を確保するだけでなく、人や環境に対する配慮がなされ、まちの個性や文化を表現する手段としても活用されるようになってきました。

私たちは「あかり」による良好な夜間景観形成を目指し、周囲の地域特性や照明環境、個々の「あかり」とまちの「あかり」の関係性、建築デザインやランドスケープとの調和、環境配慮や省エネルギー性能などを踏まえた照明デザインを行っています。これらの「あかり」によって形成される魅力的



コンフォール松原

なまちの景観は、豊かな都市・居住環境を形成し、地域の価値向上や住民のまちに対する愛着や誇りを醸成させることにつながると考えています。

私たちはこれからも「あかり」によって形成される景観を通じて、人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュースしていきます。



アーバンプラザ星ヶ丘

# 2

## 再生するあかり

UR都市機構では、これまで住まいやまちの抱える様々な課題に向き合い、社会情勢や周辺環境の変化に対応しながら、より良い住まいやまちづくりに取り組んできました。

生活の基礎である住まいやまちは、時の流れと共に建物がまちに溶けこみ、緑は豊かに育ち、広場は憩いの場所となって、そこに暮らす人々と共に成長していきます。私たちはこれらの住まいやまちが、より皆様に愛され、住みやすい場所となるよう、改修に取り組んでいます。

「あかり」についても安全・安心や省エネ性の配慮はもちろん、周囲との調和を図り、地域に根ざした「あかり」に改修していくことで、より快適で魅力ある住まいやまちへの再生を目指しています。

## アクティ三軒茶屋

迎え入れる温かいあかり

所在地	東京都世田谷区
管理開始	平成14年
改修実施	平成27年
戸数	523戸
照明デザイン	LIGHTDESIGN INC.
受賞	平成14年照明普及賞 優秀施設賞



迎えるあかりが温かい屋外空間

都心の繁華街でありながらレトロな雰囲気が残る街、三軒茶屋にあるのが「アクティ三軒茶屋」です。大学の跡地に建てられた団地内には、長い年月を経て育まれた樹木が残されている一方で、アルミルーバーやガラス、ステンレスを多用し、屋上にキャノピー（庇）を設けるなど、先進的な外観デザインが特徴の団地です。

照明はこれらのランドスケープや建築デザインを演出し、安心で心地よいあかりとなるようデザインしました。明るさを抑えつつ、壁や樹木を照らすことで心理的な明るさを確保した歩行空間は、家路につく人々を迎え入れる温かいあかりの夜間景観を形成しています。

近年行ったリニューアルでもこれらのコンセプトを踏襲し、同時にLED化や時間帯による照明制御を採用することで省エネルギー化を図り、環境にも配慮した団地になっています。



## 夕陽丘

上質を再生するあかり

所在地	大阪府大阪市
管理開始	昭和55年
改修実施	平成26年
戸数	68戸
照明デザイン	(株)LEM空間工房
受賞	平成26年照明普及賞



あかりを用いることで視認性を高めたエントランス

「夕陽丘」は数多くの神社や寺院が立地する「寺町」エリアにあり、中央吹き抜けの中廊下を通り各住戸へアプローチする構造が特徴的な団地です。

竣工から約35年が経過し、総合的にリニューアルを行いました。照明デザインでは「都心居住に対応する住性能の向上」、「歴史に息づくまちなみと団地の継承」、「暮らしを彩るこもれびの景」をコンセプトとして、建物の個性を生かした照明手法を用いました。

中廊下では明るさを確保する一方、間接照明が個性的な天井や外壁を強調することで、建築デザインをより浮かび上がらせています。また、視認性の低かったエントランスは、外壁のライトアップにより視認性の向上を図っています。建築の個性を生かした照明デザインが、上質さや住まう誇りをもたらしてくれます。

## 保土ヶ谷駅前ハイツ

適光適所のあかり

所在地	神奈川県横浜市
管理開始	昭和57年
改修実施	平成25年
戸数	250戸
照明デザイン	(株)フォーライツ



あかりの寄り添うベンチが目を引く中庭

「保土ヶ谷駅前ハイツ」は、JR横須賀線「保土ヶ谷駅」の駅前に位置し、駅やバスターミナルを利用する歩行者の通り道にもなっている団地です。リニューアルにあたっては、団地の価値向上だけでなく、駅前エリアの整備という公的な側面の双方を目指し、ランドスケープと照明を中心にリニューアルを行いました。

ランドスケープは「のんびりと集うことができる中庭的空間をつくる」、「セミパブリックな路地的空間の創出」をコンセプトとし、中庭のシンボルである3本のケヤキを活かしたデザインとしました。照明は「安らぎや落ち着きを感じられる温かみのあるひかり環境」、「メリハリをもたせた適光適所のひかり」をコンセプトとし、人が流れる、歩く、止まる、留まる、集う、語らうなど、光に意味を持たせたデザインとしました。ベンチ下や庇に間接照明を設けることで、メリハリのある適光適所のあかりが自然な賑わいを創出しています。

## 恵比寿ビュータワー

地域に溶けこむ上質なあかり

所在地 東京都目黒区  
 管理開始 平成6年  
 改修実施 平成25年  
 戸数 520戸  
 照明デザイン (株)近田玲子デザイン事務所



スタイリッシュな雰囲気にも一新された屋外空間

恵比寿ガーデンプレイスの一角に建つ超高層住宅である「恵比寿ビュータワー」は、建設から20年が経過し、経年劣化や時代のニーズの変化などを踏まえ、外壁やエントランスなど、総合的にリニューアルを行いました。

中庭では壁面のライトアップにより視覚的な明るさを確保することでエントランスとのつながりを感じさせ、照明によって浮かびあがる壁の凹凸や床面の大理石の輝きが、より洗練された高級感のある空間を演出しています。また、屋外空間ではまぶしさを抑え、周辺の色温度と調和を図った明るさにすることで、周辺環境に馴染む景観を形成しています。

リニューアルによって生まれかわった「恵比寿ビュータワー」は、都心立地にふさわしいグレード感あるスタイリッシュなデザインで、都心に住まうステータスを最大限に感じさせてくれます。

## 八広五丁目

みどりと潤いのあかり

所在地 東京都墨田区  
 管理開始 昭和53年  
 改修実施 平成25年  
 戸数 144戸



明るく落ち着いた雰囲気のエントランス

「八広五丁目」は下町情緒溢れるエリアにありながら、東京スカイツリータウン、曳舟駅前再開発など、近年進化し続ける注目のエリアにあります。団地の誕生から約40年が経過し、建物や設備等の老朽化が著しくなってきたことから、これまでのイメージを一新させ、緑と潤いのある安心の住まいへの生まれかわりを目指し、総合的なリニューアルを行いました。

照明は「緑が映えるあかり」、「空間を演出するあかり」、「安心感のあるあかり」をコンセプトにデザインを行いました。緑豊かな屋外空間では、樹木のライトアップにより四季折々の多彩な景観を演出し、高さを抑えたポール照明が足元をしっかりと照らすことで、落ち着きと安心感のある空間を演出しています。

また、エントランスは上質で豊かなあかりで溢れ、帰ってきた人々がほっとする雰囲気を醸し出しています。

## キャナルタウンウェスト

ゆらめきを映すあかり

所在地 兵庫県神戸市  
管理開始 平成8年  
改修実施 平成27年  
戸数 1,200戸



間接照明を用いたやさしいあかりのエントランス

「キャナルタウンウェスト」は超高層住宅を含む1,200戸の大規模団地です。赤レンガを使った倉庫や三角屋根の工場など、神戸の原風景の一つである近代産業景観を受け継いでおり、団地内の中央を流れる運河をイメージした水路を挟むように住棟が計画的に配置され、みなとまち神戸の歴史と風情を今に伝えていきます。この異国情緒溢れる神戸らしいまちづくりは、2002年にグッドデザイン賞（建築・環境デザイン賞）を受賞しました。レンガ調の住棟の低層階と水路は、住む人の心と生活空間となっており、隣接した緑豊かな公園とともに美しい景観を作り上げています。夜には、駅前から団地内まで続く一本の歩道を照らすあかりと水路に映るあかりが、往来する人々を華やかに照らしてくれます。また、エントランスでは建築デザインと一体となった照明が上質な空間を演出することで、我が家へ帰る人々をやさしく迎え入れます。

## アーバンラフレ星ヶ丘

やわらかく温かいあかりのガーデン



所在地 愛知県名古屋市  
管理開始 平成5年  
改修実施 平成28年  
戸数 693戸

丘陵地に位置し、開放感のある「アーバンラフレ星ヶ丘」では、緑に抱かれた庭園住宅「ザ・ガーデン」をコンセプトにリニューアルを行い、過ごしたくなる屋外空間を創出しました。

照明はやわらかく温かいあかりで団地を訪れる人々をお迎えできるよう、安全性と景観に配慮し、リニューアルを行いました。ガーデンゾーンには「星ヶ丘」という名にちなんだムーンライトを設置することで、美しい街並みに映える印象的なランドスケープを演出しています。

## 萱場

自慢したくなる楽しいあかり

所在地 愛知県名古屋市  
管理開始 昭和51年  
改修実施 平成29年  
戸数 160戸  
照明デザイン (株)近田玲子デザイン事務所



文教エリアにある「萱場」では、防犯性・機能性の向上、上品で清潔感のある共用空間の創出をテーマにリニューアルを行いました。外観デザインは白と黒を基調としながら、アクセントカラーのワインレッドを取り入れることでアーバンなイメージを演出しています。

照明デザインは「温かみを感じ、ステータス性を感じる夜間照明」をテーマとして、中庭には白い玉砂利のキャンパスに虹がかかる遊び心のあるデザイン照明を設けることで、「ちょっと自慢したくなるすまい」を目指しました。

## 大開

あかりが迎えるコンフォートガーデン

所在地 大阪府大阪市  
管理開始 昭和52年  
改修実施 平成29年  
戸数 572戸



「大開」では「コンフォートガーデン」をコンセプトに、エントランス、屋外空間をトータルデザインしたりリニューアルを行いました。照明デザインでは、「つなぐあかり」による動線の明確化、「あつめるあかり」によるピロティ空間の演出、「かさねるあかり」による遠くからの視認性の向上など、多彩なアイデアを取り入れることで自然とあかりの共存が華やかな表情を見せています。

## 赤羽南一丁目

光の通り庭

所在地 東京都北区  
管理開始 昭和54年  
改修実施 平成28年  
戸数 268戸



赤羽駅からほど近い「赤羽南一丁目」では、質の高い安全・安心な住まいを目指しリニューアルを行い、緑豊かでゆとりあるガーデンアプローチが上質を感じさせる空間を形成しています。植栽や壁面のライトアップが、「温かいあかり」と「安心なあかり」となって人々を迎え、2棟で連続する通り抜けピロティと中庭を含めたエントランス空間が「光の通り庭」を演出しています。

## アーバニア志賀公園

にぎやかなあかりの庭園

所在地 愛知県名古屋市  
管理開始 平成9年  
改修実施 平成28年  
戸数 712戸  
照明デザイン (株)LEM空間工房

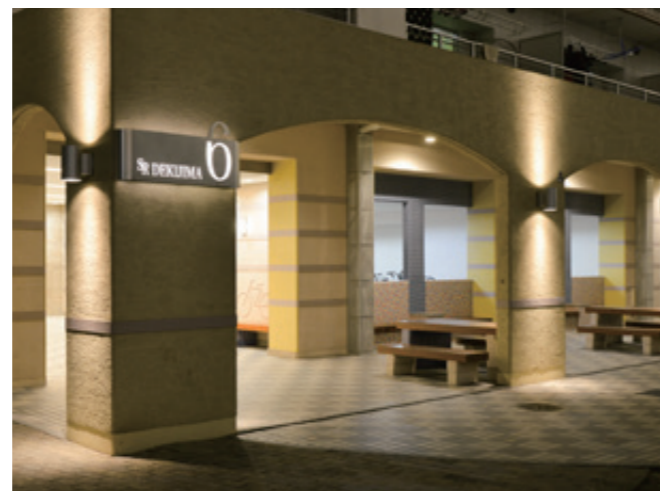


志賀公園を望む「アーバニア志賀公園」では、庭園をイメージした心地良く回遊したくなる屋外空間を目指し、総合的にリニューアルを行いました。照明デザインでは、団地全体の明るさ感の向上を図り、また、志賀公園に生息する生き物をテーマとした影絵を映し出すデザイン照明を設置することで、夜でもにぎやかで遊び心溢れる楽しい空間演出を行っています。

## サンラフレ出来島

人々を迎える温かいあかり

所在地 大阪府大阪市  
管理開始 平成6年  
改修実施 平成29年  
戸数 778戸



鮮やかな色彩のモザイクタイルのエントランスが印象的な「サンラフレ出来島」では、漆喰調の壁をライトアップすることで、温かみの感じられる空間が形成されています。団地内に設けたテラスは、昼には子供達の遊び場として賑わい、夜には温かいあかりに包まれたリラックスできる空間になっています。

## Column-2

### Interview: 照明デザイナー 近田玲子氏 ～「あかり」への意識～

住宅における照明をデザインする際には、高齢者と若者の見え方の違いなどに配慮し、安心、安全を最優先する必要がありますが、ただ単純に空間全てを明るくすれば良いというわけではありません。どのように明暗環境を作り出し、心地よい空間にするかを考える必要があります。広場であれば、明るい部分と暗い部分をつくるだけでも、空間としてメリハリのある心地よい空間にすることが出来ます。



また、環境や省エネルギーにも配慮が必要です。近年多くの方が「無駄なあかり」を意識するようになり、必要以上の「あかり」は、節電の意識から消されてしまいます。このようにならないためには、「あかり」を限定する必要があります。最低限の「あかり」でいかに最大限の効果を生み出すか、いかに「有効なあかり」をつくるかが重要です。

照明を用いて建物デザインやランドスケープの魅力を引き出すには、全体の中でどこを目立たせたいか、どのように見せたいかをイメージすることが大切で、どこを強く見せて、どこを省くかがポイントになってきます。住宅の場合であれば、人の動きに沿った「あかり」であること、人の暮らしている感じをいかに演出するかも重要なポイントになります。

また一般的な集合住宅では、外廊下の明るさを優先させた結果、光源が眩しく見えてしまうケースも見かけますが、眩しさを抑えた照明にするだけで、住む人に居心地の良さを感じさせることが出来ます。

近年、照明に対する意識も量から質へ移りつつあり、今までの「ひかり」ではなく「あかり」に対して意識が高まってきているように思います。人々が抱くであろう「量から質」、「エネルギーに対する感覚」、「あかりに対しての感性」などの感覚にいかに関わり添うことが出来るかが、照明デザインにおいては重要だと思います。



ヌーヴェル赤羽台



## 事例紹介

### 大手町川端緑道

賑わいのあかり

所在地 東京都千代田区  
竣工 平成26年  
用途 歩行者専用道  
照明デザイン 岩井達弥光景デザイン  
受賞 平成26年照明普及賞



土地区画整理事業の一環として整備された「大手町川端緑道」では、日本橋川の親水空間を取り巻く「環境」をキーワードとして、様々な自然要素とアクティビティをちりばめたまちの風景を「日本橋川環境絵巻」として敷地形状に織り込みました。照明デザインは、快適な歩行空間を提供すると共に、絵巻物の見所である10箇所の拠点を賑わいある空間に演出しています。

### 勝どきビュータワー

歴史をたたえるあかり

所在地 東京都中央区  
竣工 平成23年  
用途 複合商業施設・共同住宅712戸  
照明デザイン (株)トミタ・ライティングデザイン・オフィス  
受賞 第9回照明デザイン奨励賞「カチドキッククロック」



再開発事業により生まれた「勝どきビュータワー」は、駅や店舗、子育て支援施設などが一体となった超高層タワーです。平成23年に照明デザイン奨励賞を受賞した「カチドキッククロック」は光るガラスの壁で、「勝どき」に由来するものや現在の天気などの映像を「勝開橋」の開閉時間であった70秒ごとにランダムに変化させ、夜の空間を演出しています。

### 狭山スカイテラス

(狭山市駅西口駅前広場)

街の顔となる発展するあかり

所在地 埼玉県狭山市  
竣工 平成24年  
用途 駅前広場  
照明デザイン LIGHTDESIGN INC.



西武鉄道新宿線「狭山市駅」西口に広がる「狭山スカイテラス」は、交通環境の改善や美しい景観と安全で快適な中心市街地を目指し整備された駅前広場です。「適所適光」、「適時適光」、「やすらぐ光」、「空間の広がり」を明確にする光」をコンセプトにした照明は、駅前に降り立つ人々がほっと出来るような温かいあかりの景観を演出しています。

### 流山市立おおたかの森 小学校・中学校

(おおたかの森センター・こども図書館)  
森とまちをつなぐあかり

所在地 千葉県流山市  
竣工 平成27年  
用途 小中学校・図書館等  
照明デザイン LIGHTDESIGN INC.  
受賞 北米照明学会賞Award of Merit 2016



小・中学校、こども図書館、地域センター等が一体となり整備されたこの施設は、中央部を「風の道」が貫き、隣接する森とまちをつなぐ役割を果たすなど、周辺の豊かな自然環境に配慮した設計になっています。照明デザインにおいても、公共空間であることから安全性を優先しながらも、明るすぎない自然な「あかり」を配することで周辺環境との調和を図っています。

## 団地×あかり」2 MAP

### Kanto



### Tokai



### Kyushu



### Kansai



照明関係受賞一覧

年度	受賞名	主催者	受賞物件名	所在地
H28	北米照明学会賞 Award of Merit 2016	北米照明学会	流山市立おおたかの森小学校・中学校 (おおたかの森センター・こども図書館)	千葉県 流山市
H26	平成26年照明普及賞	(社)照明学会	夕陽丘	大阪府 大阪市
H26	平成26年照明普及賞	(社)照明学会	大手町一丁目地区第一種市街地再開発事業 「大手町川端緑道」	東京都 千代田区
H23	第9回照明デザイン 奨励賞	(社)照明学会	勝どきビュータワー「カチッドキックロック」	東京都 中央区
H14	平成14年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	アクティ三軒茶屋	東京都 世田谷区

まるで森に住んでいるのかと思うほど多くの緑に囲まれた団地、子供たちがのびのびと遊べる広場がある団地、人々の触れ合いが楽しい団地、古さを感じつつもどこか落ち着く団地など、団地の魅力は様々です。

本冊では団地の夜間景観について紹介しましたが、私たちはこれも団地の魅力の一つとして捉えています。美しい団地の夜間景観は豊かな居住環境を形成し、住む人たちのまちに対する愛着や誇りになると同時に、人々の心に安らぎや潤いを与え、日々の暮らしをより豊かなものにしてくれます。

これまで機能が優先されてきた都市は、社会の変化に対応しきれず、元気をなくしています。私たちは、このような都市を環境や景観に配慮がなされ、また活力に満ちあふれ、何よりもその都市を舞台としてそこで活動するすべての人が生き生きと輝くことができる都市に再生することを最終的な目標に位置づけています。

私たちはこれからも人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュースしていきます。

発行：独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理部 都市環境計画課  
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー  
TEL.045-650-0111 www.ur-net.go.jp/

企画：独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理部 都市環境計画課

製作：(株)URリンケージ

デザイン：氏デザイン(株)

写真：©(株)わたなべスタジオ(P1-6,9,14,16上,17,19-22,28下,29右上,33-34)

©繁田諭(P24)

©益永研司(P25-26)

©Ai Hirano(P29右下)

©(株)YAMAGIWA(P15下,31左上・右上)

発行日：2018年2月

団地 × 街力

街に、ルネッサンス



UR 都市機構

2

